

事務事業名		一般財団法人大船渡市体育協会運営支援事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業									
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目									
	施策名	1 2 生涯スポーツの振興				会計	款	項	目	事業					
	基本事業名	0 2 スポーツ・レクリエーション活動の推進				01	02	01	15	12					
根拠法令		一般財団法人大船渡市体育協会運営事業補助金交付要綱		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		事務事業区分									
所属		協働まちづくり部 生涯学習課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不詳 年度～)				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)							
部課名		山岸 健悦郎		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		※全体計画欄の総投入量を記入									
課長名		スポーツ推進係		電話 27-3111				全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
係名		富山 智門		内線 288						国庫支出金					
担当者						都道府県支出金									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)											
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容は、運営支援に必要な補助金の支出。</li> <li>一般財団法人大船渡市体育協会は、昭和37年の設立で、市の体育・スポーツ活動の普及・指導団体として市の社会体育の推進に貢献している。活動内容は、県民体育大会への選手派遣、市民体育大会の開催・運営、各加盟競技団体やスポーツ少年団の育成・支援等を行っている。平成18年度からは、指定管理者として市の体育施設の管理、運営も行っている。</li> <li>平成26年6月3日より一般財団法人へ移行した。</li> <li>事業費は、市体育協会運営事業への補助金(指定管理料は含まない)である。</li> <li>令和元年度より体力づくり推進事業(ID1265)に係る費用(50万円)を指定管理料から補助金に組入れている。</li> </ul>				総投入量(千円)		事業内訳		事業費計(A)		0					
						財源内訳		正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)		0	
						国庫支出金		延べ業務時間		人件費計(B)		トータルコスト(A)+(B)		0	
						都道府県支出金		人件費計(B)		トータルコスト(A)+(B)					
						地方債									
						その他									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
① 手段(主な活動)		名称		単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア		人
市体育協会事業(県民体育大会への選手派遣、市民体育大会の開催・運営、各加盟競技団体やスポーツ少年団の育成・支援等)への運営支援		イ		人
新型コロナウイルス感染症対策により一部事業が、中止・縮小となった。		ウ		
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
市体育協会事業(県民体育大会への選手派遣、市民体育大会の開催・運営、各加盟競技団体やスポーツ少年団の育成・支援等)への運営支援		カ		団体
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		キ		団体
大船渡市体育協会		ク		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位
円滑に事業運営できるようにする。		サ		千円
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ		
スポーツ団体(人材)が育成されている。		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	5,878	6,996	9,400	9,400	9,400	9,400
	事業費計(A)		千円	5,878	6,996	9,400	9,400	9,400	9,400
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50
		人件費計(B)	千円	200	200	200	200	200	200
		トータルコスト(A)+(B)		千円	6,078	7,196	9,600	9,600	9,600
⑤ 活動指標		ア	人	541	666	800	900	1,000	1,000
		イ	人	7	202	300	300	300	300
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	団体	25	25	25	25	25	25
		キ	団体	46	45	45	45	45	45
		ク							
⑦ 成果指標		サ	千円	5,878	6,996	9,400	9,400	9,400	9,400
		シ							
		ス							

事務事業ID	1019	事務事業名	一般財団法人大船渡市体育協会運営支援事業
--------	------	-------	----------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和37年の設立以来、スポーツ協会が行う自主的な事業運営に要する費用の財政支援として実施されてきた。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発足当初は、野球協会、柔道協会等6協会であったが、現在は25協会・46スポーツ少年団を擁する一般財団法人大船渡市体育協会に発展した。</li> <li>・平成18年度より市の体育施設等の指定管理業務を受託し、その運営を行うこととなった。</li> <li>・震災に伴い、体育協会への企業協賛(100万円)を得ることができなくなり、体育協会の運営面において実質的に100万円の減少となった。</li> <li>・令和4年8月に「大船渡市体育協会」から「大船渡市スポーツ協会」へ名称を変更した。</li> </ul>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市スポーツ協会理事会などで、スポーツ施設等の指定管理を受託したことを契機に、市スポーツ協会独自の事業等を行いつつ、加盟の各単位協会との連携を深め、組織力の強化を図る必要があるとの意見が出されている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 指導者や実践者の団体である市スポーツ協会の育成・支援することにより、市民へのスポーツ振興・普及に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ スポーツ基本法に基づき、スポーツをすることができるよう諸条件の整備に努めることは、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市スポーツ協会は、各単位協会を束ねる市内で唯一スポーツの普及活動を行うことのできる団体であり、対象として適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 東日本大震災からの復旧・復興がひと段落し、今後は、少子高齢化などの社会情勢の変化等も踏まえながら取組を創意工夫することで、成果を向上させる必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 一般財団法人大船渡市スポーツ協会の運営が困難となり、それに伴い市のスポーツ推進が停滞する恐れがある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 県民体育大会など各種大会参加に係る旅費等が経費の中で大きな部分を占め、事業費を削減すると各種大会への参加が抑制されるが、需用費、役務費やイベント等の対応を見直すことで、削減の余地がある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 平成18年度から市体育協会が体育施設等の指定管理を受託したことに伴い、体育振興課が廃止され、生涯学習課スポーツ係に移行されており、これ以上の削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 県民体育大会参加費や各種大会等の個人負担もあり、公平・公正である。しかし、県民体育大会への参加補助について、現状では、旅費的な意味合いでの支出となっており、普及・強化対策として望ましい補助・助成のあり方について今後検討する必要がある。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止 創意工夫により、市民のスポーツ実施意欲が向上するような取組を期待するとともに、補助金の効率的な運用によるコストの縮減についても求めていく。	(2) 改革・改善による期待成果																							
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	新型コロナウイルス感染症対策の影響によるスポーツ・レクリエーション活動の停滞を招かないよう、各加盟協会活動の維持、基盤の安定を図るため支援を継続する。	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	●																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	市をはじめ関係団体等と連携して事業運営がなされており、今後とも継続していくべきであるものの、各単位協会と連携したスポーツ協会独自の自主事業等の取組を一層企画・検討するように促す。